

平成 30 年 9 月 5 日

部員各位

(一社) 姫路薬剤師会
学薬-30-07 学校薬剤師部

平素は会務運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。

「平成 30 年度公益財団法人日本学校保健会事業 学校における飲酒防止教育支援研修会」をご案内致します。参加希望の方は各自直接【日本学校保健会運営ポータルサイト『学校保健』】よりお申し込みの手続きをお願い致します。

(公印省略)

平成 30 年 8 月 30 日

支 部 長 様
学校薬剤師部委員 様

一般社団法人兵庫県薬剤師会
会 長 笠 井 秀 一

平成 30 年度公益財団法人日本学校保健会事業
学校における飲酒防止教育支援研修会の開催について

平素は本会会務に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記研修会の開催について、兵庫県教育委員会事務局から別添の通り参加申込の案内がありました。

つきましては、参加ご希望の場合は「学校保健」ポータルサイトより各自直接お申し込みの手続きをお願いいたします。

なお、学校薬剤師部からの補助はございませんので、予めご了承ください。

ご多忙の折、恐縮ではございますが何卒よろしくお願いいたします。

記

- 1 日時・場所：①平成 30 年 10 月 11 日（木） 13：00～16：40
兵庫県看護協会ハーモニーホール
（兵庫県神戸市中央区下山手通 5-6-24）
②平成 30 年 11 月 22 日（木） 13：00～16：40
琴浦町生涯学習センター「まなびタウン とうはく」
（鳥取県東伯郡琴浦町徳万 266-5）
- 2 参 加 費：無料
- 3 申 込 み：日本学校保健会運営ポータルサイト「学校保健」より申込
※申込者が定員を超える場合は、開催地域の方を優先

学校における飲酒防止教育支援研修会 実施要項

兵庫開催

【目 的】

未成年者の飲酒は、成人と比較してアルコールによる悪影響を受けやすいことから、その未然防止に係る教育及び啓発が必要であることは言うまでもない。さらに、学校における未成年者飲酒防止教育は、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てることを目標としている。

したがって、学校における未成年者飲酒防止に関する教育では、医学的な知見に基づく健康への影響に対する理解を促すと共に児童生徒等に訴求効果の高い実践が求められる。

本研修会は今後の未成年者飲酒防止教育の在り方等について教育関係者や医療関係者等に情報発信していくことを目的としている。

主催：公益財団法人日本学校保健会

共催（申請中）：兵庫県学校保健会

後援（申請中）：兵庫県教育委員会 神戸市学校保健会 神戸市教育委員会

公益社団法人アルコール健康医学協会

協賛：ペルノ・リカール・ジャパン株式会社

1 日 時：平成 30 年 10 月 11 日（木） 開場 12：00 開演 13：00 終了 16：40

2 会 場：兵庫県看護協会ハーモニーホール（兵庫県神戸市中央区下山手通 5-6-24）

3 募集定員：500 名 （定員に達し次第、募集終了）

4 参加対象：学校教育関係者等（管理職、教諭、養護教諭、保健主事、栄養教諭、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、行政担当者）

5 参 加 費：無料

6 内 容（敬称略）

（1）趣旨説明 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 担当官

（2）講 演 1 若者のイッキ飲みに関する実態及びその対策（仮題）
北垣 邦彦（東京薬科大学薬学部 教授）

（3）実践発表 啓発パンフレットを使用した保健指導（仮題）
堀 央士（東京都立深川高等学校 教諭）

（4）講 演 2 イッキ飲みの危険性、女性の飲酒のリスク（仮題）
松下 幸生（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 副院長）

（5）パネルディスカッション

座 長：勝野 眞吾（岐阜薬科大学 名誉教授）

パネリスト：松下 幸生、北垣 邦彦、堀 央士、文部科学省担当官

並木 茂夫（公益財団法人日本学校保健会 事務局顧問）

12:00	13:00	13:10	13:30	14:10	14:40	14:50	15:40	16:40
受付	開会	趣旨説明 (20分)	講演 1 (40分)	実践 発表 (30分)	休憩	講演 2 (50分)	パネル ディスカッション (60分)	閉会

7 参加申込方法：日本学校保健会運営ポータルサイト「学校保健」より申込み

※申込者が定員を超える場合は、開催地域の方を優先します。

学校における飲酒防止教育支援研修会 実施要項

鳥取開催

【目 的】

未成年者の飲酒は、成人と比較してアルコールによる悪影響を受けやすいことから、その未然防止に係る教育及び啓発が必要であることは言うまでもない。さらに、学校における未成年者飲酒防止教育は、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てることを目標としている。

したがって、学校における未成年者飲酒防止に関する教育では、医学的な知見に基づく健康への影響に対する理解を促すと共に児童生徒等に訴求効果の高い実践が求められる。

本研修会は今後の未成年者飲酒防止教育の在り方等について教育関係者や医療関係者等に情報発信していくことを目的としている。

主催：公益財団法人日本学校保健会

共催（申請中）：鳥取県学校保健会

後援（申請中）：鳥取県教育委員会 公益社団法人アルコール健康医学協会

協賛：ペルノ・リカール・ジャパン株式会社

1 日 時：平成30年11月22日（木） 開場 12:00 開演 13:00 終了 16:40

2 会 場：琴浦町生涯学習センター「まなびタウン とうはく」（鳥取県東伯郡琴浦町徳万 266-5）

3 募集定員：250名（定員に達し次第、募集終了）

4 参加対象：学校教育関係者等（管理職、教諭、養護教諭、保健主事、栄養教諭、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、行政担当者）

5 参加費：無料

6 内 容（敬称略）

（1）趣旨説明 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 担当官

（2）講演 1 若者のイッキ飲みに関する実態及びその対策（仮題）
北垣 邦彦（東京薬科大学薬学部 教授）

（3）実践発表 啓発パンフレットを使用した保健指導（仮題）
堀 央士（東京都立深川高等学校 教諭）

（4）講演 2 イッキ飲みの危険性、女性の飲酒のリスク（仮題）
真栄里 仁（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 教育情報部長）

（5）パネルディスカッション

座 長：勝野 眞吾（岐阜薬科大学 名誉教授）

パネリスト：真栄里 仁、北垣 邦彦、堀 央士、文部科学省担当官

並木 茂夫（公益財団法人日本学校保健会 事務局顧問）

12:00	13:00	13:10	13:30	14:10	14:40	14:50	15:40	16:40
受付	開会	趣旨説明 (20分)	講演 1 (40分)	実践 発表 (30分)	休憩	講演 2 (50分)	パネル ディスカッション (60分)	閉会

7 参加申込方法：日本学校保健会運営ポータルサイト「学校保健」より申込み

■鳥取県内在勤の方は、和歌山県教育委員会へ申込みください。

■鳥取県以外の方は、ポータルサイト「学校保健」の研修会申込ページより申込ください。

【学校保健ポータルサイト：<http://www.gakkohoken.jp/>】

※申込者が定員を超える場合は、開催地域の方を優先します。